

へいせい ねん がつ にち にち  
平成30年11月12日・13日

よ か へ や べんきょうかいしりょう  
つるま読み書きの部屋勉強会資料①

しょう はなし  
いろいろな障がいの話と、

たす ちゅうい  
助けるときに注意すること

やまとし しょう ふくしか  
大和市 障がい福祉課

# 障がい者の現状

## ○大和市における障がい者数

しょうがいしゃてちょうしょじしゃごうけい  
障 害 者 手 帳 所 持 者 合 計 : 400 人

うちわけ  
(内 訳)・しんたいしょうがいしゃてちょう  
身体障 害 者 手 帳 : 941 人

りょういくてちょう  
・療 育 手 帳 : 1,767 人

せいしんしょうがいしゃてちょう  
・精 神 障 害 者 手 帳 : 1,692 人

じりつしえんいりょうせいど せいしんつういんいりょう  
※自 立 支 援 医 療 制 度 (精 神 通 院 医 療) : 3,670 人

ほけん ふくし へいせい ねんどばん  
【保 健 と 福 祉 (平 成 30 年 度 版) より】

## ・大和市における障がい者の割合

やく  
約 \_\_\_\_\_ %

へいせい ねん がつ にち そうじんこう  
平 成 30 年 10 月 1 日 の 総 人 口 235,846 人

## しょう 障がいについて りかい 理解しましょう

あなたも しょう 障がい者になるかもしれません。

びょうき 病気や じこ 事故は、だれ 誰にでも お 起きます。そして、いつ お 起こるか わ 分かりません。

しょう 障がいも、びょうき 病気や じこ 事故と同じです。だれ 誰がいつ わ なるかは わ 分かりません。

しょう 障がいは、みんな おな 同じ？

しょう 障がいにはいろいろな しゅるい 種類があります。おな 同じ しょう 障がいでも、おも 重い しょう 障がいや かろい 軽い しょう 障がいなどがあります。みんな おな 同じではありません。み 見ただけでは わ 分からない しょう 障がいもあります。ほか 他 ひと の人が み 見ても、しょう 障がいがあることが わ 分からないので、くる 苦しんでいる ひと 人もいます。

しょう 障がいを ただ 正しく りかい 理解してください。しょう 障がいのある ひと 人も、かつやく 活躍で きます きます。

め 目が わる 悪い人は めがね 眼鏡をかけます。しょう 障がいのある ひと 人も、どうぐ 道具を つか 使ったり、ほか 他 ひと の人から たす 助けてもらえれば、できる できることが たくさん たくさんあります。

しょう 障がいのある ひと 人は、いつも たす 助けが ひつよう 必要というわけでは あ りません。でも、こま 困っていると かん 感じたら、「何か こま お困りですか」と き 聞いて、じぶん 自分が てつだ できる てつだ 手伝いを しまし しましょう。

## しかくしょう め ふじゆう かた 視覚障がい（目の不自由な方）

げんいん 原因はいろいろあります。なに み へんじゆう へんじゆう へんじゆう へんじゆう  
何も見えない人や、少ししか見えない人がいます。少しだけ見  
える人は、ちい さい ちい さい ちい さい ちい さい  
小さいものが見えない、ひかり ひかり ひかり ひかり  
光がまぶしい、くら くら くら くら  
暗いところで見えにくい、みえる はんい  
見える範囲  
が狭い、わ ぶん ぶん ぶん ぶん ぶん ぶん  
分かりにくい色があるなどのしょうじょう  
症状があります。

## こんなサポートをお願いします



### ○白杖を持っている人が困っているように見えたら声をかけましょう

はくじょう も へんじゆう へんじゆう へんじゆう へんじゆう  
白杖を頭の上50cm位に持ち上げていたら「白杖SOSシグナル」です。

「お手伝いしましょうか？」と聞いてください。しかくしょう へんじゆう へんじゆう  
視覚障がいのある人は、まわ じょうきょう  
周りの状況  
がわからないため、こえ だ  
声を出せないことがあります。

### ○前から声をかけましょう。急に体を触ってはいけません

め み へんじゆう へんじゆう へんじゆう へんじゆう  
目が見えないので、きゅう からだ さわ  
急に体を触られるとおどろ  
驚きます。まえ へんじゆう  
前から声をかけましょう。

### ○「あちら、これ、そこ」などの言葉を使わないでください

め み へんじゆう へんじゆう へんじゆう へんじゆう  
目が見えないので、「こちら、あちら、これ、それ」や、あか かんばん  
赤い看板などのせつめい  
説明ではわ  
かりません。「30センチ右」「時計で3時の方向」と説明すると分かりやすいです。

### ○注意すること

ほどろ じてんしゃ お  
歩道に自転車などを置かないでください。とく きいろ てんじ  
特に黄色の点字ブロックは、め ふじゆう へんじゆう  
目の不自由な人  
がある たいせつ  
歩くときにとても大切なものです。じてんしゃ ぜったい お  
自転車などは絶対に置かないでください。また、  
め ふじゆう へんじゆう へんじゆう へんじゆう  
目の不自由な人が、いつもつか  
使っているものは、お ばしょ か  
置く場所を変えないでください。

## 聴覚（耳の不自由な方）

耳の不自由な方には、まったく聞こえない人と、話している声や小さい音が聞こえない人がいます。生まれた時から聞こえない人と、事故や病気で途中から聞こえなくなる人がいます。

こんなサポートをお願いします



耳マーク

### コミュニケーション方法を確認しましょう

耳の不自由な人とのコミュニケーションの方法はいろいろあります。

手話：手の動きで会話をします ※耳の不自由な人の約20%が利用しています。

筆談：文字を書いて会話をします

口話：口の動きで会話をします。 など

相手に合った方法で、耳の不自由な人とお話ししてください。

### 気づいたら、相手に伝えてください

見ただけでは分かりにくい障がいのため、周りの人に気づいてもらえないことがあります。声を出して話すことができる耳の不自由な人もいます、

補聴器（小さい音を大きい音にする機械）をつけていると聞こえる人もいますが、電車

や建物などの放送は音が響いてよく聞こえないことがあります。その時は筆談などで

伝えてください。

## 肢体不自由（手や足などの体が不自由な方）

事故や病気で、手や足など体に不自由なところがある人は、歩くこと・スプーンやコップを持つことなどの動きがうまくできません。座っていることが大変な人もいます。また、病気や事故で脳をケガすると、上手に話しができなくなったり、覚えることができなくなるなど普通の生活に影響が出てしまうこともあります。

## こんなサポートをお願いします

### ○困っていそうなときは、声をかけてください

車いすを使っている人は、段差や物があると、移動することができないことがあります。また、高いところにあるもの、床に置いてあるものなどを取るのは大変です。

困っていそうなときは、「お手伝いしましょうか」と優しく声をかけましょう。また、お手伝いをするときは、何をしたいか聞きましょう。

※車いすを使っている人は、\_\_\_\_cmを超える段差があると自分で移動できません。

### ○見守りましょう

体に不自由なところがあると、早く動けません。すぐに「お手伝いしましょうか」と聞かないで、見守ってください。

### ○話をするときは、かがんでください

車いすを使っている人が、立っている人と話すときは上を見て話します。ずっと上を見て話すと疲れてしまいます。車いすを使っている人と話しをするときは、かがんで顔を同じ高さにしましょう。

## ○注意すること

ちゆうしゃじょう しょう しゃよう つか からだ ふじゆう  
駐 車 場 では、障 が い 者 用 の ス ペ ー ス を 使 わ な い で く だ さ い 。 体 に 不 自 由 な と こ ろ が  
ある 人 は、うご くの が たいへん な の で くるま ひつよう が必要です。みせ などに 行 っ た と き に、しょう しゃよう  
の ス ペ ー ス が 使 え な い と、くるま お 降 り る こ と が で き ず と て も 困 り ま す 。

## 内部障がい（体の中の障がい）

① 心臓 ②呼吸器 ③腎臓 ④ぼうこう・直腸 ⑤小腸機能 ⑥肝臓

⑦ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能

の7種類の機能障がいがあります。

こんなサポートをお願いします



ハートプラスマーク

〇見ても分からない障がいもあります。

体の中に障がいがあると、体が弱くなってしまいます。長い時間立っているのは

大変です。元気そうな人が、電車やバスの優先席に座っていたら、体の中に障がい

あるのかもしれませんが。周りの人が見ただけでは分からない障がいもあることを分かってください。

※ハートプラスマークを付けている人がいたら、体の中に障がいがある人だということを知ってください。

〇携帯電話を使うとき、タバコを吸うときは、ルールを守ってください

心臓ペースメーカーなどを使用している人は、携帯電話の電波で正しく動かなくなるか

もしれません。呼吸器に障がいのある人が使用している酸素ボンベの近くでタバコを

吸うと危ないです。携帯電話を使うとき、タバコを吸うときは、ルールを守ってください。



## 知的障がい

生まれつき、または幼い時に、考えたり判断したりする能力の成長が止まってしまい、考えたり判断したりする能力が年齢よりも低い障がいです。知的障がいのある人は、特別な助けが必要です。知的障がいのある人は、「ことばを使う」「覚える」「難しいことを考える」時などに少し時間がかかる人もいます。人と話すのが苦手、漢字の読み書きが苦手、同じことをずっとするなど、知的障がいは色々あります。

## こんなサポートをお願いします

### ○ゆっくり簡単な言葉で話しかけましょう

「ひとりだけで話している」、「同じ言葉を繰り返す」など、知的障がいのある人は会話がうまくできません。難しい話が分からないこともあります。お話をする時は、ゆっくり、簡単な言葉で話してください。

### ○パニックになっていたら、落ち着ける場所に連れて行きましょう

予定が急に変わったり、大きな声で注意されたり、思っていないことが起きると、とてもびっくりします。びっくりすると、「大きな声を出す」「ジャンプする」など、パニック行動をします。その時は、落ち着ける場所に連れて行ってあげてください。

### ○やさしく声をかけ、危ないことを知らせてください

「赤信号でも進む」「車が来ても避けない」など、危ないことが分からない、助けてと言えないことがあります。やさしく声をかけて、危ないことを知らせましょう。

## 精神障がい

精神障がいは、脳の病気により感情・行動などに障がいがあり、普通に生活をするこ  
とが難しくなる障がいです。目に見えない障がいであり、周りの人に分かってもらえ  
ず、怠けているように見えることがあります。

## こんなサポートをお願いします

### ○精神障がいの人に合わせてお話をしてください

精神障がいのある人は、「がんばれ！」「大丈夫！！」などと言われると、ストレスにな  
ることがあります。話をするときは、分かりやすく、はっきりと、簡単に話しましょう。  
ゆっくりと、時間を使って対応してください。

### ○休むことも必要です

「仕事が忙しい」、「心配なことがある」など、ストレスが多くなると、症状が悪くな  
ることがあります。眠れなかったり、急に元気になったり、普段は気にならないことが  
とても気になる、などの症状は、注意が必要です。その時は、ゆっくりと休むように  
話してあげてください。